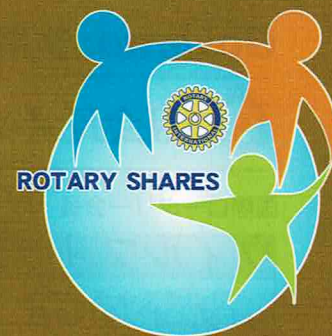


# Governor's Monthly Letter



To Club Presidents and Secretaries

Rotary International District 2550 (Tochigi, Japan)

RI会長 ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

ガバナー 近藤 隆 亮

2007~2008年度

国際ロータリーテーマ **ROTARY SHARES**

ロータリーは分かちあいの心



米陀 寛 題名[赤牛]

## 目次

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| P. 1 RI会長メッセージ   | P.16 ガバナー公式訪問日程表  |
| P. 3 近藤ガバナーメッセージ | P.17 地区組織図        |
| P. 5 就任挨拶        | P.18 地区行事予定       |
| 地区幹事             | 文庫通信、通信欄、ロータリーの綱領 |
| 地区会計長            |                   |
| 各グループ ガバナー補佐     |                   |
| 地区各委員長、地区DICO    |                   |

7月：雑誌月間

今月のロータリーレポート  
1米ドル=122円



国際ロータリー第2550地区ガバナー事務所

〒320-0802 栃木県宇都宮市江野町1番12号 栃木実業ビル2階

TEL 028-651-2550 FAX 028-651-2551

E-mail : k2550@lemon.plala.or.jp

2007.7

**NO. 1**

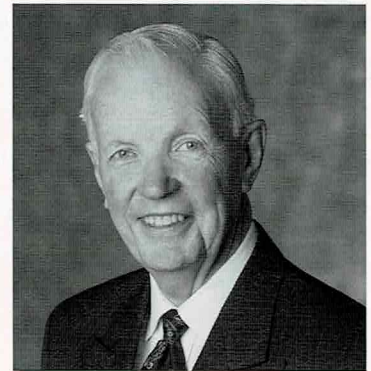




国際ロータリー会長

### ウィルフリッドJ. ウィルキンソン氏

カナダ、オンタリオ州、トレントン  
2006-07 年度国際ロータリー会長エレクト  
2005 年国際大会委員会委員長  
1997-2001 年および2002-04 年度ロータリー財団管理委員  
1993-94 年度国際ロータリー副会長  
1992-94 年度国際ロータリー理事  
1971-72 年度地区ガバナー



1958 年以来公認会計士を務めているウィルフリッドJ. ウィルキンソン氏は、税務会計事務所、ウィルキンソン・アンド・カンパニーの設立者です。同氏は、オンタリオ州公認会計士評議会の会長、また、カナダ公認会計士協会およびオンタリオ州公認会計士協会の両団体の財務長を務めました。また、ケベック州公認会計士協会およびロイヤル・カナディアン・ミリタリー・インスティテュートの会員でもあります。

ウィルキンソン氏は、トレントン・メモリアル病院の募金委員会委員長、ベレビル・チェジャイアー成人身体障害者ホームの創設委員長、ローヤリスト大学の理事長、カナダ・ボーイスカウト地区評議会会長として活躍しました。会計士を退職した後は、非常勤でクインテパレエスクールの常任理事を務めました。

氏は、1962 年以來のロータリアンで、所属するオンタリオ州、トレントン・ロータリー・クラブの元会長です。ロータリーでは、副会長、理事、財団管理委員、地区ガバナーを歴任しました。国際協議会で討論リーダーを務めたほか、複数のロータリー委員会の委員長と委員を務めた経験があります。

また、インターナショナル・ポリオ・プラス委員会の委員として、世界的なポリオ撲滅への活動に専心してきました。ウィルキンソン氏は、ケニア、タンザニア、インドで行われた全国予防接種日に参加し、パキスタンではアフガニスタン難民の子供たちにポリオ・ワクチンを投与しました。保健、飢餓追放および人間性尊重補助金プログラムのボランティアとしてインドに渡った経験もあります。そのほか、ウィルキンソン氏は南アフリカ、ナミビア、英国、ヨーロッパ、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ合衆国とカナダの各地でロータリーの奉仕を行ってきました。シカゴで開かれた国際ロータリーの100周年年次大会をはじめとする複数の大会において委員長を務めました。

私生活においては、1953 年にジョアン夫人と結婚し、4 人の息子さんがいます。

### 親愛なる朋友ロータリアンの皆さん

ロータリアンというのは、実に豊かな多様性に満ちた人々の集まりです。さまざまな国でさまざまな言語を話す私たちは、信仰も政治的見解も、ひいては哲学的な信念をも異にしています。120万人の会員の間に共通する一本の強力な糸が存在するとすれば、それは「分かち合い」という名の精神でできた糸です。ロータリアンは、広大な範囲の人道的、社会的問題に挑むプロジェクトを効果的に遂行するために、自らの時間や才能、専門知識、資金を分かち合っています。また、思いやりと熱意を分かち合い、恵まれない人々を助け、より良い世界を築こうという決意を分かち合っています。さらには、ロータリーを世界第一級の奉仕団体へと発展させた比類なき奉仕への情熱を分かち合っているのです。

この基本的とも言える寛大な精神を2007-08年度のテーマに反映したく、私は「ロータリーは分かちあいの心」というテーマを選びました。このテーマが、次年度、すべてのロータリアンにとって誇りの原点となり、また、私たちの活動の原動力となってくれることを願います。

分かち合いと言うと、大勢による偉業を推進することを連想されるかもしれませんが、それは同時に一個人による行為であり、個人的な選択でもあります。私たちの一人ひとりがどれだけの時間とエネルギーをロータリーに捧げるかを決めるわけですが、その決意がやがては、各クラブが地元や海外の地域社会とどれだけ分かち合うことができるかを決定づけるのです。ですから、私は皆さんにお願いしたいのです。どうか、これまで以上にロータリーと個人的にかかわり、奉仕プロジェクトと会員増強の両面から積極的に参加してください。





私の呼びかける個人的な関与にはロータリー家族の皆さんからの参加も含まれていますが、この「ロータリー家族」は私が継続したいと望むもう一つの強調事項です。ロータリアンとその家族だけでなく、ロータリーアクター、インターアクター、青少年交換学生、ロータリアンの遺族の方々、そしてロータリーの目標と理念の推進に向けて私たちと協同で活動して下さる方々も皆、このファミリーの一員です。ロータリー家族が一体となれば、私たちは奉仕と親睦の理念を世代を超えて伝えながら、ロータリーのプログラムを世界中に広めていくことができるのです。

継続性はロータリーの成功には欠かせない要素ですから、保健、識字率向上、水保全が引き続き次年度の奉仕の焦点となります。これは、多くのクラブにとっては、地元や海外の地域社会において今後もプロジェクトで成果を上げていくことを意味します。一方、新しいプロジェクトの立ち上げを考えているクラブに私がお願いしたいのは、独自の創造性を駆使して、新しいアプローチを用いていただきたいということです。例えば、水の浄化、読み書きの教育、家々への安全なエネルギー源の供給などに、いかにして新技術を用いることができるかを検討してみてください。そして、こういった画期的な解決策を、実り多いプロジェクトのアイデアを模索している他のロータリー・クラブと分かち合っていたいただきたいのです。

2007-08年度の計画を立てる際に、もう一つクラブに奨励したいのは、国連ミレニアム開発目標、中でも特にサハラ砂漠以南のアフリカ諸国の「ミレニアム・ビレッジ」プロジェクトへの参加です。これらのビレッジは、ロータリー地域社会共同隊(RCC)と同様、極貧状態にある地域社会が自助自立を目指すのを支援するボトムアップのアプローチ、つまりは下意上達の形採っています。この重要な目標を支援するために、ロータリー地域社会共同隊を通じて私たちが学び、蓄えた自助自立推進に関する知識を分かち合おうではありませんか。

2007-08年度のテーマには、二つの意味があります。一つは、ロータリーは分かちあうということ、もう一つは、私たち皆がロータリーを分かちあうということです。私がロータリアンになってから最初の30年間、ロータリーはたゆみない発展を遂げました。しかし、その間ただ一人として新会員を入会させたことのなかった私は、その発展に全く貢献していなかったのです。ロータリーの加盟クラブの数が減り始めたときにはじめて、自分が心から大切に思ってきた組織はもはや放っておいてはひとりでのに発展し続けることはできないのだと、突然、気づきました。自分が、そしてすべてのロータリアンが、新会員を連れてくる責務を分かち合わなければならないのだと、そのとき理解したのです。そして私は初めてその責務を果たしました。

次年度、私は皆さん一人ひとりに、それぞれの役割を果たし、地元地域社会の事業や専門職務のリーダーの方々とロータリーを分かち合ってくださいようお願いすることになります。2007-08年度、理事、研修リーダー、会員組織コーディネーター、地区ガバナー、クラブ会長からなる私のリーダーシップ・チームの全ロータリアンに、少なくとも1名の新会員を入会させていただくという目標を設定しました。元RI会長にもこの目標への支援をお願いしています。これに加えて、新会員をもたらしたすべてのロータリアンを表彰する計画も準備しました。ともにロータリーの発展に対する責務を分かち合い、すべてのクラブをより充実した存続力あふれる存在にしていきましょう。

ダイナミックなプロジェクトのアイデアを立案したり、他の会員を行動へと駆り立てたりする献身的なロータリアンが、すべてのクラブの支柱的存在となることは明白ですが、そのような人物の数は決して多くありません。しかし、私たちが自ら進んで関与することを決意し、その重要な最初の一步を歩み出すなら、そしてただ一言、「はい」と肯定的な返答をすることができたなら、誰もがこのようなロータリアンになれると私は信じています。

はい、そのプロジェクトを率先して行います。

はい、新会員を連れてきます。

はい、クラブをさらに充実させるために、自分のアイデアと資源を分かち合います。

ひたむきに、そして積極的に活動する120万人のロータリアンをもってすれば、ポリオ撲滅の仕事を完遂し、保健、水保全、識字率向上に取り組むプロジェクトを遂行し、地球上の隅々にまで平和という大義を推し進め、「ロータリーは分かちあいの心」を明確に、しかも力強く実践できると私は信じています。

ウィルフリッドJ. ウィルキンソン  
2007-08年度国際ロータリー会長





### ご挨拶

— 年度の初めにあって —



国際ロータリー第2550地区  
2007-2008年度ガバナー

近藤 隆 亮 (宇都宮RC)

国際ロータリー第2550地区のロータリー・クラブ会長・幹事の皆様、そしてロータリアンの皆様、2007-2008年度の一年間、皆様との重要なコミュニケーションチャンネルの一つとして、このガバナー月信を活用させて頂きたく、皆様の何分のご理解とご協力、ご支援の程、宜しく申し上げます。

年度初めのガバナー月信発行に当り、本年度のロータリー活動の基本理念とその方向を示す、国際ロータリーのテーマ及び其の背景、並びに当地区の活動目標に就き、改めて紹介させていただきます。

### 2007-2008年度国際ロータリー (R I) のテーマ

R Iのテーマ、Rotary Shares (ロータリーは分かちあいの心) に就きましたは、地区チーム研修セミナー、PETS及び地区協議会に於いて、既にご報告・ご説明申し上げて参りましたが、ウィルフリッド J. ウィルキンソン R I 会長がこのテーマに込められた思いを、皆様により深くご理解戴くため、2007年の国際協議会におけるウィルキンソン会長発言のいくつかと合わせ、改めてご紹介致します。即ち、「ロータリーとは、だれかれの区別なしに全ての人類に向けられる人類愛であり、其の人類愛を表現し、分かちあう術を授けてくれるのです。」「ロータリアンの思いやりの心こそ、Rotary Sharesです。ロータリアンが奉仕の必要性を知ることこそ、Rotary Sharesです。ロータリアンが“超我の奉仕”を実践することこそ、Rotary Sharesです。」

この素晴らしい組織、ロータリーを維持発展させる為にも、「私達は会員増強を通して愛を分かち合います。どんなに多くの業績を数え上げてみたところで、新しい会員を増やし、既存会員を維持し続けることができなければ、ロータリーは生き残れません。新しい会員がいなければ、他の幾つかの奉仕団体の例のように、ロータリーは数十年のうちに消滅してしまうからです。」又、R I 会長は、「このテーマ“Rotary Shares”がロータリアンの誇りの原点となり、活動の原動力となり、そしてロータリアンの寛大なる精神の反映となる事を切に願う」とも述べられました。

ウィルキンソン会長は、本年度のR I テーマ“Rotary Shares”に二つの意味をこめられました。其のひとつは「ロータリーは分かち合うこと」—ロータリアンは人道的、社会的問題に挑むプロジェクトを効果的に遂行する為に、自らの時間、才能、専門知識、資金を分かち合い、思いやり、熱意、決意を分かち合い、そして奉仕への情熱と愛を分かち合う事—であり、もうひとつは「ロータリーを分かち合うこと」—ロータリーの組織を維持発展させる為、自分が、そして全てのロータリアンが、“ロータリー家族”とも協働して会員増強の責務を分かち合う事—であります。

### 2007-08年度国際ロータリー会長の強調事項

ウィルキンソン会長は、ロータリー活動の成功の為、ウィリアム B. ボイド前会長が提唱した「水保全」、「保健と飢餓救済」、「識字率向上」及び「ロータリー家族」を、引き続き本年度の奉仕の焦点とすることを強調され、併せて、クラブ独自の創造性を駆使した「クラブのプロジェクト」の立ち上を期待されました。



### 2007-08年度ロータリー財団の目標

ピチャイ・ラタクル財団管理委員会委員長は、財団活動において皆様と分かち合いたい夢として、「ポリオ撲滅への努力継続」、「財団プログラムへの参加」、「財団学友の活動拡大」及び「世界平和と親善プログラムの推進」を掲げられ、世界のロータリアンと共にこの夢を実現する為、ロータリアンとして自分の出来ることに最善を尽くそうと呼びかけました。

### ロータリー活動と倫理観

ピチャイ・ラタクル委員長は、ロータリー活動に関し、クラブの多様性を尊重して地域独自の、自主的、個性的活動を強く望まれました。

又、ロータリーの基本理念は四大奉仕であり、就中、職業奉仕の基本理念である「倫理・道徳の高揚」はロータリー独自の最も重要な側面である、と強調され、意義ある奉仕の旅の針路を示してくれるのが「ロータリーの綱領」であることを、ロータリアンは改めて認識するよう強く求められました。

## 国際ロータリー第2550地区 2007-2008年度活動目標

私は、ウィルキンソン会長の掲げたRIテーマ及び強調事項、ならびに、ピチャイ・ラタクル財団管理委員長のロータリー活動の指針、「倫理・道徳観の高揚」と「クラブの独自性」を肝に銘じ、本年度の当地区の活動目標を以下のように掲げます。

当地区のロータリー・クラブ会長、幹事及びロータリアン各位が、「分かちあいの心」を以って、貴各クラブの目標の実現・達成を目指して戴きたく、又、会員個々人として、率先してのロータリー活動を期待致します。

### 1. クラブの活性化

- ・各クラブが独自のプロジェクトを発掘・実施し、独自性・地域性を重視した活動を実現する。
- ・各クラブの広報活動を強化し、ロータリー家族の輪を広げ、退会防止、会員増強に努力する。

### 2. RI常設プログラムへの各クラブの参加推進

### 3. ロータリー財団活動への直接・間接の参加及び支援

財団活動への間接的参加のみならず、直接参加プロジェクトの発掘に努め、これを実現する。

### 4. 米山記念奨学会活動への参加及び支援

米山記念奨学会への参加及び奨学生の受入・カウンセリングの実施。







2007～2008年度  
地区幹事

篠崎 昌平 (宇都宮RC)

この度、2007～08年度、RI第2550地区ガバナーとして宇都宮RCから近藤隆亮氏が就任いたしました。当クラブとしては1996～97年度の宮崎柏ガバナー以来11年振りのガバナー就任となりました。

大竹義夫、落合雅雄ガバナー年度の地区幹事であります中村福蔵様、大島伸介様、両先輩幹事のご指導を頂き、2007～08年の近藤隆亮ガバナー年度の地区幹事として不肖私が就任いたしました。

近藤隆亮ガバナーには今年2月、国際協議会に奥様と共に出席され、厳しい研修を済まされて帰国されました。2007～08年度のRIテーマとして「ROTARY SHARES」—ロータリーは分かちあいの心—と定められました。

これに基づき近藤ガバナーご指導の下、地区内ガバナー補佐との研修・懇談を深め、3月11日地区チームリーダー研修会、3月25日会長エレクト研修会、4月30日地区協議会等一連の研修会を終了し、新年度を迎えることになりました。

地区幹事としての責務は、ガバナーの任務の事務的な事項について全面的に補佐すると共に各クラブに対する連絡・調整を担当し、円滑な地区運営を計ることにあります。

今年度ご就任されましたガバナー補佐、並びに地区役員、各委員の皆様のご活躍をご期待申し上げ、近藤年度に対するご支援、ご協力を衷心よりお願いいたしますと共に、地区内50クラブの益々のご発展と会員各位のご健勝をご祈念申し上げまして、就任のご挨拶といたします。



2007～2008年度  
地区会計長

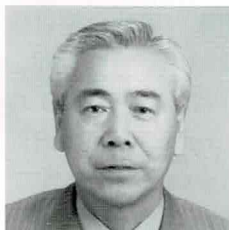
久保井 一臣 (宇都宮RC)

「地区」は、地区提唱プロジェクトおよび地区内におけるロータリーの管理・開発の資金を調達する目的で、「地区資金」という基金を設けることができ、この地区資金は、地区内クラブの会員に均一の賦課金を割当てるという方式によって調達され、地区の一人当たりの賦課金の支払いは、地区内全クラブの義務とされております。(RI細則)

この地区資金に関し、「地区会計長」と2名の「地区資金委員」は、人頭分担賦課金の額および地区の管理運営に必要な費用を検討・調査することによって、地区資金の資産をまもり、地区の財務状況に関する年次報告を準備し、ガバナーと協力して地区経費の予算を作成し、地区協議会における次期クラブ会長の会議で承認を受けなければなりません。(ロータリー章典)

2007年4月30日に承認を受けましたので、地区会計長は、会員の負託にこたえるために、地区資金の収支を正確に記録し、地区の名義で地区資金の銀行口座を開き、ガバナーに協力してその管理を行っていくこととなります。(ロータリー章典)

以上が、ロータリー活動の更なる発展のための「地区資金」の意味と、「地区会計長」の任務および責務でございます。会員の皆様のご理解とご協力の程をよろしくお願い申し上げます。



2007～2008年度 第1グループ  
ガバナー補佐

加藤 利勝 (黒羽RC)

近藤ガバナー年度の第1グループ担当ガバナー補佐を命じられました黒羽R.Cの加藤利勝です。

本年度においては、ガバナー補佐研修会が熱心に行われておりました。始めに危機管理委員会の設置について立ち上げを行い、青少年交換プログラムのスムーズな運営を基準とする規定の設置等が決まりました。

ガバナー補佐の役割については、地区リーダーシッププランDLPに基づき任務を実行致しますのでCLPの導入とクラブの円滑にそして活発に運営されますことをお願い申し上げます。

近藤ガバナー年度活動目標、クラブの活性化については自主性を持ち各クラブが会員規模に合った組織を創り、目標の設定運営が必要と思われれます。特に小クラブの推進が重要と思われれます。

「水保全」「保健と飢餓救済」「識字率向上」「ロータリー家族」の奉仕に対してはクラブ独自の目標を上げ行動について率先して行って下さい。

最後になりますが国際ロータリー会長ウィルフィリッドJ・ウィルキンソン氏の提唱「Rotaly Sheares—ロータリーは分かちあいの心」に近づく様第1グループ各クラブ会長幹事はじめ会員の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



2007～2008年度 第2グループ  
ガバナー補佐

川又 茂三 (馬頭小川RC)

第2グループガバナー補佐を委嘱されました馬頭小川RCの川又茂三でございます。ウェルフレッド、Jウィルキンソン会長は2007～08年度のテーマに「ロータリーは分かちあいの心」を掲げられました。120万人の会員の間に共通する1本の強力な糸が存在するとすれば、それは「分かちあい」という名の精神でできた糸です。ロータリアンは広大な範囲の人道的、社会的問題に挑むプロジェクトを効果的に遂行するために、自らの時間や才能、専門知識、資金を分かち合っています。又、思いやりと熱意を分かち合い、恵まれない人々を助け、より良い世界を築こうという決意を分かち合っています。このテーマがすべてのロータリアンにとって誇りの原点となり、また私達の活動の原動力となってくれることを願っていますと説いておられます。さらに前年度の4つのプロジェクトの継続、さらに加えて、すべてのロータリアンが新会員を連れてくる責務を分かち合わなければ発展し続けることはできないとも述べておられます。又、近藤ガバナーはウィルキンソンRI会長の掲げたRIテーマ、及び強調事項、ならびにビチャイラタクル財団管理委員長のロータリー活動の指針を受け、当地区の活動方針を次のように掲げられました。

1. クラブの活性化。
2. RIプログラムへの各クラブの参加、推進。
3. ロータリー財団活動への参加、支援。
4. 米山記念奨学会活動への参加、支援。

以上の活動方針を推進する近藤ガバナーの意を体し、この一年間、微力ではありますが、ガバナー補佐としての責務を果たすべく努力してまいりたいと思っております、同時に第2グループ、5クラブの現在の会員数130数名、最も多かった時期の56%に会員数が減少しています。当にロータリー過疎グループともいえましょう、クラブに活気を取り戻す原動力に会員増強は欠かせない要素の一つであると思っておりますのでこの問題についても、グループ内、会員皆様と一緒に考え、努力してまいりたいと思っております。

第2グループ内ロータリアンの皆様、ならびに地区関係各位のご指導、ご支援を衷心よりお願い申し上げます。





### 第3グループAの ロータリアン殿



2007～2008年度 第3グループA  
ガバナー補佐

鈴木 宏 (宇都宮北RC)

謹啓。2007年7月を迎え、新しいロータリー年度おめでとうございます。第3グループAのロータリアン殿には益々ご清祥にて、本年度のためにあれこれと創意を凝らし構想を固められたことと推察いたします。また、伊東永峯直前ガバナー補佐殿におかれましては本当に一年間お疲れ様でした。

第3グループは、テリトリーが「宇都宮というマンション」に現在9軒のクラブが住んでおります。そして9つという大所帯のためAとBの2つの班に別れております。補佐はそのマンションの管理人でもあります。仕事は皆が住みやすいようにと回覧板を回し、掃除をしたり、切れた電球を替えたりすることとっております。

ところで、補佐の任務の中で大切なものが2点あります。一つは、「リエゾン liaison」ー連絡役として、地区ガバナーの管理運営上の目・耳・口・両手となることです。二つ目は、クラブの現状を分析し、クラブ運営をより建設的かつ能率的にする方策を分かち合う「経営管理顧問」としての役目です。これらの任務を全うしていけばクラブの活性化のお役に立てるのではないかと考えております。

#### [リエゾンとしてのガバナー補佐]

地区におけます単独決議機関としてのガバナーとガバナーの諮問に答えその決議を実行していきます地区委員会と各ロータリー・クラブ群のコミュニケーションの中で、補佐がクラブに一番身近な存在ですので、今まで以上にリエゾンとしての役目を十二分に発揮出来るような方策を検討・実施して行きたいと思っております。

#### [クラブ経営管理顧問としてのガバナー補佐]

補佐として、担当グループ内のクラブ会長・幹事と直接お会いして、クラブの現況をお話いただき、悩みでも結構です。そして、会長・幹事の疑問に対して、顧問としてかつリエゾンとして共に考え、必要があれば資料を提供していきたいと思っております。

ロータリー運動とは「親睦の哲学」と考えております。補佐として、「友情溢れた世界」にするために「友情の架け橋」を共に築いていければと願っております。

これから一年に涉り右往左往することになりますが、因縁の然らしめることとご理解いただき、何卒よろしくご交誼賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

敬具



2007～2008年度 第3グループB  
ガバナー補佐

比企 達男 (宇都宮東RC)

アシスタントガバナーとしての重責を、ひしひしと感じておりますが、ガバナーと各クラブとの間のチャンネルに徹することで、その責を果たす所存です。

ウィルキンソンR I会長のテーマは、原文のROTARY SHARESのままの方が分かり易いように思います。ロータリアンが、夫々の才能を活かし、「分担」して活動する時、例えばポリオ撲滅運動のように、壮挙と言えることも成し遂げることさえ可能となります。

城の基の石積みは、多様の形の、又、大小様々の石を巧みに組み合わせ積み上げることにより、美しく、又強固な建造物が構築されますが、同じ規格の石を積み上げても、あのように美しく、強いものにはならな





いと聞きます。

様々の才能を持つロータリアンが、その能力を発揮し、ロータリーの組織力により活動する時、国際社会で追従を許さぬ貢献も可能となります。各クラブの会長、地区ガバナー、RI会長が、夫々の立場で会員を最大限活かして、心一つにして奉仕活動を繰り広げれば、人類最古の奉仕団体であるロータリーは、素晴らしい足跡を遺し続けるでしょう。

ガバナー補佐は、そのお手伝いを本分とすると心得ています。



2007～2008年度 第4グループ  
ガバナー補佐

富田 兵 哉 (益子RC)

この度、2007～2008年度第4グループガバナー補佐を拜命いたしました、益子ロータリークラブの富田兵哉です。

一年間、近藤ガバナーご指導のもとに、会員皆様のご支援とご協力を頂いて、微力ではありますが、ガバナー補佐の任務を努めていきたいと思っております。

ウィルフリッドJ・ウィルキンソンRI会長は、“Rotary Shares”～ロータリーは分かちあいの心～というテーマを掲げ、「ロータリアンの誇りの原点となり、活動の原動力となり、そしてロータリアンの寛大なる精神の反映となることを切に願う」ということをロータリーの活動の指針にしております。

地区において、近藤ガバナーは、2007～2008年度の活動目標を「クラブの活性化、RIプログラムへの各クラブ参加推進、ロータリー財団・米山記念奨学金活動の参加支援をし、会員の維持、増強をすること」と述べております。

ロータリアンが地域に密着した、独自性のある活動実現のため務めていくことがRIのテーマに繋がる事と思っております。

ガバナー補佐に求められる職務は、ガバナーの方針、地区の情報などをグループ内のクラブに的確に伝え、クラブの情報、諸問題をガバナーに伝えることが、与えられた任務と思っております。各クラブの協議会に出席させていただき、ガバナーとクラブの連絡調整役として、グループ内の多くの会員のご意見をお聞かせ願えればと思っております。

各クラブの会員の皆様のご指導、ご協力をいただき、ガバナー補佐の職責を務めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



### ロータリーを楽しむ!



2007～08年度 第5グループ  
ガバナー補佐

神山 宜 久 (小山南RC)

親愛なるロータリアン諸兄、ロータリーを楽しんでおいででしょうか?

冒頭からへんなことを言うヤツが第5グループのガバナー補佐に指名されました。一年間如何にして楽しく過ごすか、一所懸命模索しますので宜しくお願いします。私たちの人生にはその時々において色々な居場所が回りまわって来ます。家庭での居場所、会社での居場所、業界内での居場所、地域社会での居場所と、自分の居場所を確保するために次から次へと様々な問題が襲い掛かってきます。一々悩んでいると潰されてしまいますので、笑い飛ばして楽しみに変えて生き続けて行きたいといつも思っています。





よく、オリンピック選手がマスコミに向かって「試合を楽しんできます」と公言していますが、私はあれを許せない。「お前は、日本国民を代表してゆくんだから、何としても結果を出して来い」と、怒鳴ってやりたい。楽しみ方には違いがあるとも思います。私にこの役が指名されたのもこれに似てるかな、と思います。今年一年間は自分一人が楽しむだけではダメ。皆が楽しめるようになるためには、どんなことができるか、と考えている最中です。

私達はいつも奉仕について話しますが、その奉仕の中に自分の楽しみが見つけれられているのでしょうか。ちょっと？です。奉仕というとすぐにマザーテレサ女史のことが浮かんできます。彼女はあの信念を貫くことで、人生の最大の喜びを見つけていたのだらうと思います。ところが私はもっと凄い奉仕を見つけています。そうです、彼女の活動を支え続けた人達が居たのです。その人達が義務でしてたのか喜びを見つけていたのかは解りませんが。

人それぞれどんなことを考え、どんな生き方をしようとも、人生は楽しみながら生きたいと思います。ロータリーも同じく、楽しんで活きたいと思っています。只今、同志を募集中！！奮ってご応募ください。



2007～2008年度 第6グループ  
ガバナー補佐

松本 欣也 (栃木RC)

この度、第6グループ（栃木・栃木西・壬生・栃木南）のガバナー補佐を委嘱されました栃木ロータリークラブの松本です。

この一年間、近藤ガバナーの方針に沿い、第6グループ皆様のご支援とご協力をいただきながら務めてまいりたいと思っております。

私は各クラブが、それぞれ独特な特徴あるクラブであっても良いと思っております。特徴あるクラブがそれを生かしながら、それぞれのクラブ自身の会員規模にあった組織をつくり（CLP）親睦活動、奉仕活動があつてこそ、クラブ活性化につながり、本来の誇りあるロータリークラブになるのではないのでしょうか。そのためにも近藤ガバナーの方針、地区の情報を的確にクラブに伝え、そして各クラブの情報、諸問題をガバナーに伝えること、ガバナーと各クラブとの橋渡し役が、ガバナー補佐の任務と考えております。

2007～08年度ウィルフリッドJ・ウイキンソンRI会長のテーマ「ROTARY SHARES」“ロータリーは分かちあいの心”を実践するため、近藤ガバナーの4つの地区目標

- 1、クラブの活性化
- 2、RI常設プログラムへの各クラブの参加・推進
- 3、ロータリー財団への参加・支援
- 4、米山記念奨学会への参加・支援

を各クラブが達成し、各クラブ会長の掲げたテーマが全て実現できますよう、微力ではありますが、一年間努力して参る所存であります。

各クラブの皆様のご指導、ご協力をいただきながら、ガバナー補佐の任務を務めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。





2007～2008年度 第7グループ  
ガバナー補佐

馬場 清市 (今市きぬRC)

皆様、日頃はロータリー活動の推進に格別の御協力を頂きまして、誠に有難うございます。

2007～2008年度の国際ロータリーのテーマであります「Rotary Shares」—「ロータリーは 分かちあいの心」—を発表されました。

このテーマが、今年度の全てのロータリアンにとって、誇りの原点となり、また活動の原動力となって頂きたく願っておりますと共に、2007年度～2008年度 第2550地区近藤ガバナーの当地区活動目標の実現に向かって活動をして頂きたくお願い致します。

(1) クラブの活性化

(2) RI常設プログラムへの各クラブ参加推進

(3) ロータリー財団活動への参加支援

(4) 米山記念奨学会活動への参加支援

(1)～(4)の当地区活動目標及び、貴クラブ活動目標が「分かちあいの心」を以て、目標の実現が成される事をお願い申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。



2007～2008年度 第8グループ  
ガバナー補佐

板橋 博 (足利東RC)

近藤ガバナー年度の第8グループガバナー補佐に就任致しました。

私が足利東RCに入会(昭和55年1月8日)した時の会長は落合ガバナー年度で、地区特別功労賞を頂いた中村福蔵会員でした。あれから27年余、中村福蔵会員にはロータリーについて色々教えて頂き、お陰様で「ロータリーとは何か」を多少理解できるようになりました。また、当クラブの元RI理事の板橋敏雄会員が、国際ロータリーの幾つもの役職を10年以上に亘り就任された事により、国内外のロータリー活動についても数多くの事を知る事が出来ました。そして2年前には、当クラブから型破りといっても過言ではない、新鋭の大竹義夫パストガバナーからも地区の状況の話を伺っておりますので心強いです。

この度、ガバナー補佐として各クラブを訪問致しますが、「好意と友情を深めるか」をモットーにして伺いたいと思っております。

近藤ガバナー年度のターゲット、「ロータリーは分かちあいの心」即ち、“120万人の会員の間に通ずる一本の強力な糸が存在するとすれば、それは「分かちあい」という名の精神で出来た糸です。”と我々会員に対して発せられたメッセージを推進する為にも、近藤ガバナーと第8グループ会員の皆様の連絡役として責任を果たして行きたいと思っております。

各クラブの皆様のご指導ご協力を宜しくお願い致します。





2007～2008年度 第9グループ  
ガバナー補佐

川島 淳一 (岩舟RC)

この度、2007～2008年度RI第2550地区第9グループ担当のガバナー補佐を委嘱されました岩舟クラブ所属の川島淳一です。

本来ならば当クラブの石川誠二郎会員が就任される予定でありましたが、去る2月急逝されました。大変意欲的に取り組んでおられましたのに誠に残念です。私はその器ではありませんが、皆様のご指導ご協力を頂きながら務めてまいりたいと思います。

2007～08年度国際ロータリーのテーマとしてウィルキンソンRI会長は「ロータリーは分かちあいの心」と発表されました。このテーマは全人類に向けられた人類愛であり、ロータリアン総ての誇りであり、奉仕への情熱を分かち合うこと、と述べられております。

近藤ガバナーは今年度地区目標として

1.クラブの活性化 2.RI常設プログラムへの参加・推進 3.ロータリー財団活動への参加・支援 4.米山記念奨学会活動への参加・支援を掲げておられます。

ガバナー補佐の役割は、クラブ奉仕活動の活性化の推進をはかり、ガバナーとの連絡役となりクラブ運営を分かち合うことではないかと思えます。グループ内各クラブ会長・幹事さんとのコミュニケーションを密にして、人間的交流を図っていきたいと思えます。幸いに第9グループは以前に分区として活動したことがあり、「秋の自然に親しむ会」等を通じて密接な関係にありますので大切に行きたいと思えます。

CLPについては、グループ全体の5クラブで採用され本格的な奉仕活動とその成果が期待される処です。

近藤ガバナーの示された地区目標の達成にむけて「分かちあいの心」をもって地区役員、クラブ会長・幹事、会員の皆様とのコミュニケーションを大切にし、クラブとガバナーとの連絡役としての役目を果たして行きたいと思えますので、微力ではありますが皆様方のご協力ご支援をお願い申し上げ就任のご挨拶といたします。



## 草の根ロータリアンの 独り言ー 「親睦の哲学」



2007～2008年度  
地区活性委員会 会長

鈴木 宏 (宇都宮北RC)

一業種一会員・毎週一回の定例会の規則的な出席・毎年交代・会費同額これらが織りなすのが「巧妙に仕組まれた親睦の構造」です。そこには「平等」という大切なものがあります。丸山真男の言葉を借りれば「自由とは、その場にそのままあるものではなく。絶えず自由であろうとする思いを積極的に働きかけていってこそ獲得できるものが自由である」この「自由」を「平等」と言い換えてみれば分かり易いかも知れません。

また生活体験や生まれも育ちも違いますから、誰一人として自分と同じ人物はいない訳です。ロータリー・クラブでは異なった仕事を背負って会員になっています。つまり極限状況に「異質」を集めたのがロータリー・クラブの会員構成です。

この「異質」によって何が芽生えてくるのでしょうか。「異質」であれば、天敵もいる自然の生態系と同じ実情があります。「異質」な会員が同じ活動を共にして行きます。否定し合って「俺は抜けていく」のではなくて「会員としてずっと皆育っていく、共にやっていく」と言うことは、それから得られるものは非常に計り知れない人間を造っていく契機になります。「共に生きる知恵を育む宝庫」これが例会であり「親睦





の哲学」と思います。

昨今ロータリーは「初めに奉仕活動ありき」で、「何故に他人の為に何かを成したいと言う気持ちが育まれていくか」と言う「構造としての親睦の哲学」が発揮されず、また顧みられないように感じられます。

「Enter to Learn and Go forth to Serve」ロータリーの活動の内容を端的に言っていると思います。例会で学ぶ会員との交流の中で、具体的な話し合いだけではなく、それぞれの自己主張を心で感じるでしょう。だから1時間の例会といえども、得られるものは非常に大きいのです。そういうロータリーが最も大切にしている「人を育てる」という「親睦の哲学」を捨てて単なる結果としての増強とか、心を伴わない実践活動は単なる「筋肉の収縮」だけになってしまいます。「親睦の効果で得られたものを、家庭や職場に持ち帰り、地域社会で人の為に何か成していこうとする。」これが「奉仕の哲学」と思います。そして、クラブ単位での社会奉仕活動は会員に対する教育的なものであるという基本の質を見直し、足元を固めた上で奉仕活動を行っていきたくと願います。

一年間活性委員会をよろしく願いいたします。



2007～2008年度  
地区クラブ奉仕委員長

亀田 清 (田沼RC)

2007～2008年度クラブ奉仕委員長に就任させていただきました亀田でございます。

地区会員の皆様にはご指導、ご協力を賜ります様宜しく願い申し上げます。本年度のテーマ「ロータリーは分かちあいの心」を充分理解し活動の原動力となって押し進め奉仕の理想と親睦の理念をもって地域社会に貢献して行きたいと存じます。近藤ガバナーよりRIのテーマを理解し技能や知識及び意欲を備えた2550地区の指導者チームを結成し各クラブの会員基盤の維持、増強を活動の重点目標としてまいりたいと述べております。

クラブ奉仕委員会と致しましてはクラブ活性化、組織の維持発展の為にはどうしても会員の増強は不可欠であります。クラブ奉仕、広報、情報、会員組織、ロータリー家族の小委員会が連携を密にし情報を交換しながら新会員の増強を計る事を本年度活動の原点としてまいります。又奉仕の理想と地元地域社会の専門職務リーダーとして新入会された方々がクラブ内活動についていけず入会三年未満での退会者が多く見られますので退会防止する為には機会あるごとに奉仕の理想の素晴らしさをIM・クラブ合同例会・クラブ情報委員会の新入会員オリエンテーションを通じて新会員研修セミナーを開催し新会員の皆様に充分理解していただく様に努力致します。

ガバナー補佐、クラブ会長、幹事の方々にはクラブ奉仕委員会活動をご理解の上地区内全50クラブに地区役員の派遣をさせていただき卓話等積極的に応じてまいりたいと考えております。地区内会員の皆様と共に同じテーマの下「分かちあいの心」を以って目標の実現を目指して戴きたく心よりお願い申し上げます就任のご挨拶とさせていただきます。



2007～2008年度  
地区奉仕プロジェクト委員長

関谷 和夫 (足利東RC)

落合ガバナー年度から、地区内の半数を超えるクラブがCLPを採用することになりました。近藤年度もさらにいくつかのクラブが採用いたします。





地区の組織構成も職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の3部門を奉仕プロジェクト委員長が統括することになりました。担当諮問委員の半田久一パストガバナーのご指導をいただきながら活動して参ります。

地区の職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の3委員会は従来通りの人数で構成され、それぞれに委員長が選任され基本的にそれぞれの委員長のリーダーシップにより活動いたします。若干変化したことは3委員会で共通する事項を模索して活動しようとする方向性が見られることです。

一方、落合年度に始まったばかりのCLPを採用したクラブでは未だテスト段階であり、しばらく推移を見てからでないと、採用したことがいったいプラスに作用しているのか、マイナスなのか判断できないと思います。

本来、CLPの最大のねらいはクラブを活性化することです。

クラブ組織を改変して奉仕活動を効率良く実行し、しかもクラブのパワーアップに結び付けてロータリーを改革して行こうというのが基本的な発想です。

CLPを採用するかどうかはクラブの意志によって自由に選択できます。

慣れ親しんできた、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕を包括する考え方にはクラブによっては抵抗もあると思います。

現実に採用を見合わせるクラブも少なからずありますので、今後は比較しながら検証する必要があります。

いずれにせよロータリーの3大奉仕である職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の基本理念は今後どんなことがあっても堅持していかなければなりません。

近藤ガバナー年度の地区奉仕プロジェクト委員会は、新世代プロジェクトや地区活性委員会等の関連組織と協力しながら各クラブの奉仕活動を支援させていただきたいと考えております。



2007～2008年度  
地区新世代プロジェクト委員長

川 名 悟 (宇都宮90RC)

日頃より、ロータリアンの皆様には、当委員会へのご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。今年度も皆様と共に委員会活動を進めて参りたいと思いますので、何卒宜しくお願い致します。

当委員会では、“各委員会間の横のつながりをはかろう”ということの一つの目標に掲げ活動して参りました。秋のライラセミナー、春の高校生ライラセミナー開催時には、米山記念奨学生、1年交換留学生、インターアクトクラブ顧問の先生方等々、国際色豊か、そして多方面に渡る皆様が集って頂いた他、多くのロータリアンの方々に寝食を共にして頂き、世代を越えた交流が生まれました。また、両ライラセミナーの開催をローターアクトクラブメンバーが実行委員として支えてくれた事も特記事項の一つでしょう。各委員会の横糸のつながりによって、言葉や世代、職業などの垣根を越えた輪がますます広がり、ロータリーという言葉の様に人と人とを結ぶ大きな輪となってゆく事を願っております。

さて、青少年育成委員会で作成を進めておりました“ロータリアン講師派遣、教員生徒職場体験受入れ事業所名簿”も、多く皆様のお陰でようやく完成を見るようとしております。ご協力頂きました皆様に心より御礼申し上げますと共に、是非有効に活用して頂き、皆様が培ってこられた企業人としてのノウハウをご伝授頂ける事を願っております。

ライラ委員会では、今年も11月に青年男女を、来春3月に高校生を対象としたライラセミナーを開催予定です。また新たな感動の出会いが生まれる事でしょう。

ローターアクト委員会では、全国2番目に少ないクラブ、会員数でありながら“自立しよう、ローターアクト”を合い言葉に活動を進めております。是非多くのロータリアンの皆様に彼らの活動に参加して頂き、その問題点を分かち合いながら理解を深めて頂きたいと思っております。

インターアクト委員会では、昨年11月に認証状伝達式を行った宇都宮文星なでしこインターアクトクラブを含め12のクラブが活動しております。継続事業である足尾の植林、海外研修等の活動を通して、若い感性がますます磨かれることを期待しております。





2007～2008年度  
地区ロータリー財団委員長

佐野 正行 (佐野RC)

2年目のロータリー財団委員長ならびにロータリー財団カウンセラーをお引き受けいたしました、よろしくお願いいたします。

ロータリー財団は皆様ご存知のように、1917年、6人目のRI会長アーチ・クランフがアトランタの国際大会で「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で事前、教育、その他、社会奉仕の分野で何か良いことをしようではないか」と提案されました、そして基金への寄付の第一号は26ドル50セントそれはカンサス・シティーRCからで、クランフ会長への記念品の購入資金でした。この基金は1928年ミネアポリス国際大会でロータリー財団と改称され、国際ロータリーの中で、別個の存在として活動し、大きな財団に発展してくるのです。さらにアーチ・クランフは「われわれはこの財団を今日明日の時点でなく、何年、何世代の尺度で見つめるべきです、なぜなら、ロータリーは幾世紀にもわたる運動だからです」と述べています。そして財団の発展は限りなく進み、世界平和に大きな貢献をするのです。現在1000ドルを財団に寄付し、ポール・ハリス・フェローの認証を受けた人数は世界で100万人を超えるのです。こうして皆様より集まった基金は1.年次寄付2.恒久基金寄付3.使途指定寄付の三つに大別されますが、そのうちの年次寄付が財団プログラムの基礎であり、寄付してから3年間運用され、50%が財団のプログラムに、そして50%が地区で使い道を決定できるプログラムに使うことができるのです。

財団のプログラムは大きく分けて

- 1.人道的プログラム マッチング・グラント、地区補助金、個人向け補助金、3-H補助金、の4つがあります
- 2.教育的プログラム 国際親善奨学金、世界平和フェロシップ、研究グループ交換、大学教員のためのロータリー補助金、ロータリー平和及び紛争解決研究プログラムの5つです
- 3.ポリオ・プラス・プログラム

があります、皆様よりの寄付は世界の人々のために大きな貢献をしているのです、寄付をしても使えないと思う方も居られると思いますが、それは違います、これらプログラムは皆さんのクラブで大いに活用できるのです、3年間取り入れた地区補助金が一番身近かもしれません、これは今年も取り入れます、大いに応募していただきたいと思います、又海外に留学できる国際親善奨学生にもクラブより推薦されては如何でしょうか。

ロータリー財団プログラムを大いに活用し、活力あるロータリー活動をしてください。寄付だけでなく、活用するのも貴方なのです。



2007～2008年度  
地区米山記念奨学会委員長

池 嶋 英 哲 (西那須野RC)

この文章がガバナー月信に掲載される頃には笑い話ですんでいけばいいのですが、米山本部よりの寄付実績の4月30日現在で、当地区内に普通寄付0が1クラブ、特別寄付0が4クラブございました。昨年の会長、幹事会等で、普通寄付はRIの人頭分担金と同じ性格で、日本のロータリークラブは予算を取って納めなければならない寄付であることを説明し、他地区では未納のクラブがあることを申しました。2550地区は完納で、全国上位の寄付を頂いていることへのお礼で申し上げたことが、私の不徳の致すところで、納めなくてもいいと受取られたのかも知れません。また、CLP導入により、財団と米山が一つの委員会になったクラブは、合同会議ではどうしても財団への出席が多く、米山へ参加する委員長がすくなかったことによる理解不足という面もあるかと思えます。その反省に立ち、今年度は、8月26日(日)に米山単独で委員長会議を行うことにしました。クラブ委員長の皆様は予定をお取り頂きたいと思えます。地区協議会である程度の説明ができましたので、当日は米山本部の宮崎専務理事の講演、そして、地区に27名いる米山奨学生の内10名程度による卓話を計画しております。昨年は機会あるごとに奨学生の卓話の宣伝をし、8つのクラブから申し込みを頂きました。ほとんどのクラブが地区の目標を上まわる勢いでした。また世話クラブ、カウンセラーも未経験クラブを少なくできればと思っております。

本年度は米山月間に限らず、一年中卓話を受け付け一つでも多くのクラブにお世話できればと思っております。委員長会議の卓話をお聞きになり、ぜひクラブの会員に聞かせたいというご希望が数多く届きますことを期待しております。好景気という実感が無い中での皆様への寄付のお願いですが、今年度は、「未納0が0」を目標に、進退伺いを懐に、努力する所存ですので皆様方のご協力を心よりお願い申し上げます。



2007～2008年度  
地区DICO

木 村 正 樹 (宇都宮RC)

今年度、DICOを担当させていただきます、木村です。よろしくお願いたします。

さて、DICOと言うと「どんな事をする担当なのか」と聞かれる事が多くあります。日本語に訳すと「地区IT情報伝達委員会」とでもなりますか。つまりインターネットなどの情報通信網を有効に活用して、ロータリーの情報活性化を推進するのが目的となります。同じような言葉にCICOがありDICOと混同される事がありますが、簡単に言うとDICOは各クラブの情報化の活性化を担当する委員の方でDICOは地区の担当として、地区ガバナーやRJWなどの情報をDICOや地区委員会のご担当者にも有効に活用できるような活性化をさせていただくのが役割と考えております。

私たちは今、情報化時代に生きています。回りを見るとパソコンや携帯電話がオフィスや家庭で広く使われ、情報伝達の手段も紙ベースからインターネットなどに代表される電子媒体ベースになってきております。このような社会環境の中でロータリーとしましても、使って便利なものは使用して合理化、利便化をしてお互いのコミュニケーションをより活性化できるようにしてまいりたいと考えております。

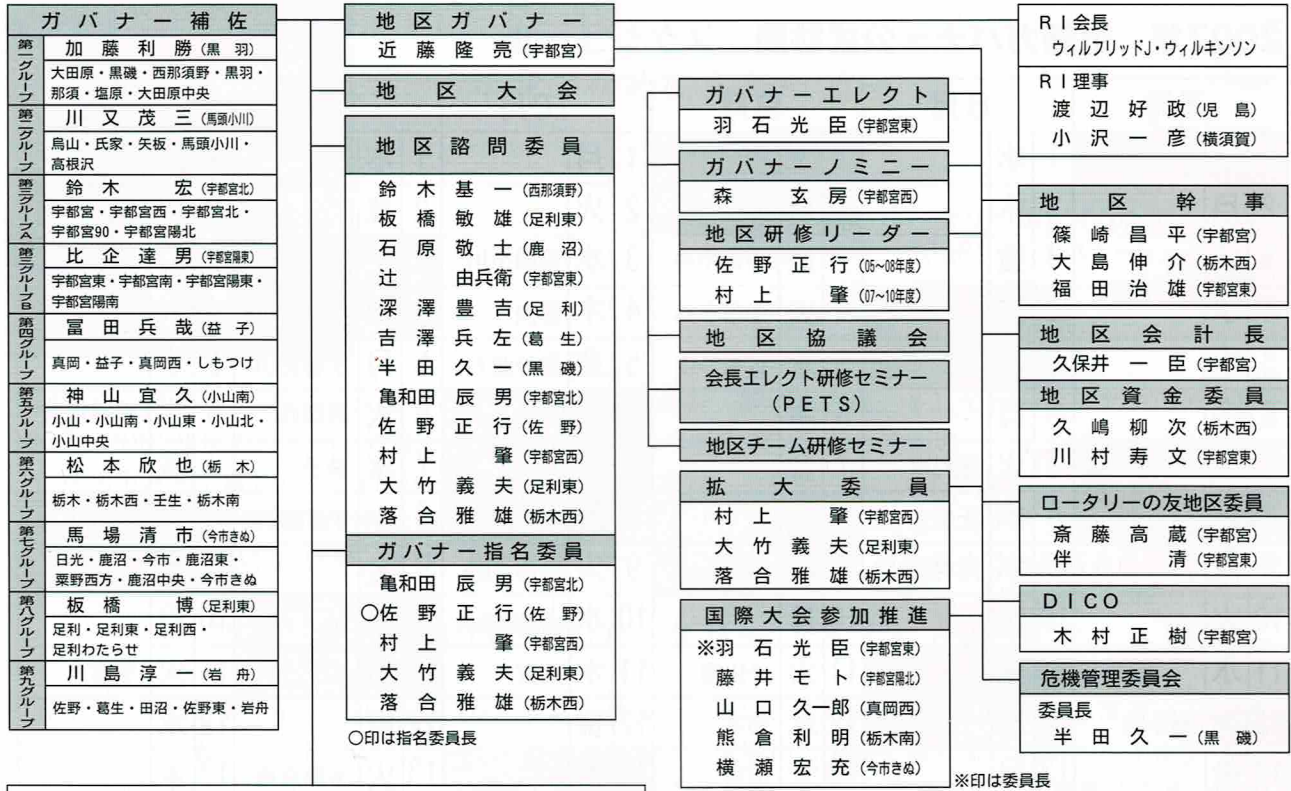
ただし、いくら情報化を促進すると申しましても、実際に皆様に活用していただかなくてはなりません。そこで僭越ながら各地区委員会から情報化推進のご担当者様を選んでいただきまして地区情報の活性化を共に推進させていただくこととなりました。いろいろと解決していかなければならない事柄があるかと思えますが、1歩ずつ前進していきたいと思えますので、なにとぞよろしくご協力のほどお願い申し上げます。





### 2007年 近藤ガバナー公式訪問 スケジュール

7月		8月		9月		10月		11月		12月		
1	日	1	水	1	土	1	月	1	木	1	土	
2	月	2	木	2	日	2	火	2	金	2	日	
3	火	3	金	3	月 小山中央	3	水 馬頭小川	3	土	3	月	
4	水	4	土	4	火 今市きぬ	4	木 那須	4	日	4	火	
5	木	5	日	5	水 しもつけ	5	金 粟野西方	5	月 宇都宮90	5	水	
6	金	6	月	6	木	6	土	6	火 真岡西	6	木 宇都宮西	
7	土	7	火 足利東	7	金	7	日	7	水 益子	7	金	
8	日	8	水 壬生	8	土	8	月 体育の日	8	木 宇都宮陽南	8	土	
9	月	9	木 足利西	9	日	9	火 西那須野	9	金	9	日	
10	火	10	金	10	月	10	水 大田原中央	10	土	10	月	
11	水	11	土	11	火 小山南	11	木 氏家	11	日	11	火 宇都宮	
12	木 栃木西	12	日	12	水 栃木	12	金	12	月	12	水	
13	金	13	月	13	木 田沼	13	土	13	火 宇都宮東	13	木	
14	土	14	火	14	金	14	日	14	水 宇都宮南	14	金	
15	日	15	水	15	土	15	月	15	木 真岡	15	土	
16	月 海の日	16	木	16	日	16	火 矢板	16	金	16	日	
17	火	17	金	17	月 敬老の日	17	水 黒磯	17	土	17	月	
18	水 小山北	18	土	18	火	18	木 鹿沼	18	日	18	火	
19	木	19	日	19	水 今市	19	金	19	月	19	水	
20	金	20	月 佐野	20	木 日光	20	土	20	火	20	木	
21	土	21	火 岩舟	21	金	21	日	21	水	21	金	
22	日	22	水 鹿沼東	22	土	22	月	22	木	22	土	
23	月	23	木 小山	23	日	23	火	23	金 勤労感謝の日	23	日 天皇誕生日	
24	火 鹿沼中央	24	金 小山東	24	月 秋分の日	24	水 高根沢	24	土	24	月 振替休日	
25	水	25	土	25	火	25	木 大田原	25	日	25	火	
26	木	26	日	26	水 塩原	26	金 黒羽	26	月	26	水	
27	金 足利	27	月	27	木 栃木南	27	土	27	火 宇都宮陽北	27	木	
28	土	28	火 葛生	28	金	28	日	28	水 宇都宮陽東	28	金	
29	日	29	水 佐野東	29	土	29	月	29	木 宇都宮北	29	土	
30	月	30	木 足利わたらせ	30	日	30	火 烏山	30	金	30	日	
31	火	31	金				31	水			31	月



### カウンセラー(担当諮問委員)

地区活性担当	クラブ奉仕担当	奉仕プロジェクト担当	新世代プロジェクト担当	ロータリー財団担当	米山記念奨学会担当
村上肇(宇都宮西)	亀和田辰男(宇都宮北)	半田久一(黒磯)	大竹義夫(足利東)	佐野正行(佐野)	落合雅雄(栃木西)

### 委員会

地区活性	クラブ奉仕	奉仕プロジェクト	新世代プロジェクト	ロータリー財団	米山記念奨学会
委員長 鈴木宏(宇都宮北)	委員長 亀田清(田沼)	委員長 関谷和夫(足利東)	委員長 川名悟(宇都宮90)	委員長 佐野正行(佐野)	委員長 池嶋英哲(西那須野)

<b>ガバナー補佐</b> 次年度クラブ会長 次年度ガバナー補佐 石川昭男(鹿沼東) 阿部孝憲(氏家)	<b>ロータリー情報</b> ☆梁島伸幸(壬生) 吉成容一(氏家) <b>広報</b> ☆遠藤幸一(小山東) 杉山欣(真岡) <b>会員組織</b> ☆増岡通子(足利東) 高山功(しもつけ) 橋本義一(栃木) 小堀幸栄(矢板) 小篠一輝(宇都宮東) 篠崎博司(佐野) <b>ロータリー家族</b> ☆高木敏子(しもつけ) 狐塚育男(栃木西)	<b>職業奉仕</b> ☆瀬下龍夫(壬生) 村上芳弘(宇都宮南) 西田靖(宇都宮陽北) 大出孝三郎(鹿沼)	<b>社会奉仕</b> ☆前田茂(宇都宮90) 三ツ山一明(日光) 塚田宗雄(宇都宮東) 小沼重信(黒羽)	<b>国際奉仕</b> ☆飯村慎一(宇都宮90) <b>世界社会奉仕</b> ☆飯村慎一(宇都宮90) 野口忠男(宇都宮東) 美野輪弘之(鹿沼東) 大金森夫(大田原) <b>青少年交換</b> ☆青山敬朗(佐野) 和気勝利(黒磯) 高山恵(宇都宮陽北) 松葉悠子(足利東) 小倉和己(宇都宮北) ※ガバナーノミニ <b>国際親善</b> ☆田島良久(馬頭小川) 出口敬(鹿沼東)	<b>青少年育成</b> ☆伊澤勝彦(しもつけ) 牟田紀一(益子) 五十畑豊廣(岩舟) <b>ライラ</b> ☆中田英昭(葛生) 桜井洋子(真岡西) 増山誠(宇都宮陽東) 毎澤公平(益子) 芝口久雄(佐野東) 村上龍也(宇都宮西) <b>ローターアクト</b> ☆小林正明(宇都宮東) 黒田雄一(鹿沼) 椎名則之(足利東) <b>インターアクト</b> ☆岡川光佑(宇都宮西) 中島恭三(足利東) 菅野進一(矢板) 月江寛智(黒磯) 橋本義彦(足利) 笠原全勝(栃木西) 二十二修(宇都宮北)	<b>国際親善奨学金</b> ☆藤原宏史(宇都宮) 喜谷辰夫(宇都宮) 狐塚泰久(鹿沼) <b>研究グループ交換</b> ☆村上正子(栃木南) 藤原郁三(益子) 黒澤洋一(黒磯) 横松宏明(宇都宮西) 奈良靖久(大田原) 石島洋(宇都宮) <b>財団補助金</b> ☆高野藤房(宇都宮東) 佐藤節(宇都宮陽北) 真尾伸一(壬和ひびき) <b>年次寄付&amp;恒久基金</b> ☆田村昭夫(小山東) 石崎功一(栃木西) <b>財団学友</b> ☆白相淑久(馬頭小川) 池田正明(今市) ホリオプラス&識字率向上支援 ☆森本敬三(大田原中央) 三品一男(鹿沼中央)	<b>米山記念奨学会</b> ☆塚越啓司(足利東) 前田光弘(矢板) 恩田光憲(宇都宮西) 石川敏廣(小山) 田辺勇治(宇都宮) 米山記念奨学会学友会 ☆米光啓彌(宇都宮南)
---	---	---	---	---	--	--	--

☆印は小委員会委員長





月	日	曜日	行 事	担 当		場 所
7	14	土	第1回 諮問委員会15:00~	G事務所	宇都宮	東武ホテルグランデ
	24 28	火 土	インターアクトクラブ 研修旅行	地区IAC委員会	タ イ	
	29	日	新世代プロジェクト委員会研修セミナー	地区新世代委員会	宇都宮	東武ホテルグランデ
8	5	日	クラブ奉仕委員会研修セミナー	地区クラブ奉仕委員会	宇都宮	宇都宮グランドホテル
	9	木	インターアクト年次大会(ホスト足利工大附属高校)	足利東RC	足 利	
	18	土	R財団委員会研修セミナー	地区財団委員会	宇都宮	ホテルニューイタヤ
	25	土	第1回 会長・幹事会	ホスト宇都宮RC	宇都宮	二荒山会館
	26	日	米山記念奨学会委員長研修セミナー	地区米山記念奨学会委員会	宇都宮	ホテルニューイタヤ
9	2	日	地区パスト会長のつどい	G事務所	宇都宮	宇都宮グランドホテル
	9	日	奉仕プロジェクト委員長研修セミナー	地区奉仕プロジェクト委員会	宇都宮	宇都宮グランドホテル
10	14	日	一年交換派遣学生(2008年)選考試験	青少年交換委員会	栃 木	サンプラザ
	28	日	馬頭小川RC35周年			
11	2 4	金 日	第31回 青年男女対象ライラセミナー	地区ライラ委員会	鹿 沼	ウエルサンピア栃木
12	16	日	第3回 諮問委員会 壮行会	G事務所	宇都宮	
2008年						
1	27	日	第2回 会長・幹事会	ホスト宇都宮RC	宇都宮	二荒山会館
3	22 23	土 日	第9回 高校生ライラセミナー	地区ライラ委員会	鹿 沼	ウエルサンピア栃木
			2008-09年度 地区チーム研修セミナー	羽石GE	宇都宮	
			2008-09年度 会長エレクト研修セミナー	羽石GE	宇都宮	
			2008-09年度 地区協議会	羽石GE	宇都宮	宇都宮カンツリークラブ
4	3	木	地区大会記念ゴルフ大会		宇都宮	
	4	金	RI会長代理歓迎晩餐会	ホスト宇都宮RC	宇都宮	宇都宮グランドホテル
	5	土	2007~08年度 地区大会		宇都宮	宇都宮グランドホテル
			国際大会		米 国	ロサンゼルス

表 紙 作者: 米陀 寛 題名: 赤牛(117×80.5cm)

### 米陀 寛プロフィール

1917年大正 6年 宇都宮市に生まれる

1936年昭和11年 下野中学卒業(現作新学院)

1946年昭和21年 日展入選

1967年昭和42年 日展特選受賞「牛」

1969年昭和44年 日展2回目の特選受賞「北辺」

1973年昭和48年 宇都宮医師会館に陶壁制作、他学校等に陶壁制作

1981年昭和56年 伸交会「牡牛」。日春展「遠野」。日展審査員に就任。

1981年昭和56年 日光二荒山神社男体山山頂鎮座

1200年祭記念の大絵馬制作

1982年昭和57年 日展会員となる

1983年昭和58年 栃木商工会館に陶壁制作

宇都宮二荒山神社齋館に襖絵制作

1984年昭和59年 下野新聞社から「米陀寛画集」発刊

2005年平成17年 没



新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には常々方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝いたしております。

今更申し上げるまでもなく、[ロータリー文庫]は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、37年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約1万9千点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお待ちしております。

## ☆利用方法☆

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問い合わせも承ります。

お問い合わせは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願いいたします。

### ●(文庫資料をご希望の場合は)

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介します。
- ・絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービスいたします。  
一部PDFで閲覧できます。
- ・重複資料はご希望により無料進呈いたします。
- ・ビデオテープは有料でダビングをいたします。

### ●(貸 出)

- ・視聴覚資料(スライド・フィルム)は予約制(申し込み用紙有)で貸出いたします。

### ●(登録資料の紹介)

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用ねがいます。「目録」に「文庫通信」欄を、設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

### ●(ご 寄 贈)

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝後援ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 通 信 欄

### ☆例会会場変更のお知らせ☆

クラブ名/宇都宮陽東ロータリークラブ

新例会場使用開始日/ベルヴィ宇都宮(Belle Vie UTSUNOMIYA)

住 所/〒321-0945 栃木県宇都宮市宿郷 5-21-15

電 話/028-633-1165 F A X/028-633-2186

### ☆例会曜日変更のお知らせ☆

小山中央ロータリークラブ

火曜日→月曜日

## ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

## The Object of Rotary

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

First. The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

Third. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business and community life;

Fourth. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.